

広島市植物公園 見どころ案内

ニリンソウ (キンポウゲ科)
春山を代表する可憐な白い花です。
1本の茎から2輪の花が咲きます。

イカリソウの仲間 (メギ科)
様々な産地のイカリソウの仲間が咲き誇っています。

プセウドボンバックス
(アオイ科)
メキシコ・グアテマラ原産です。ブラシのような花です。

ゼラニウム展
(フウロソウ科)
～4月22日まで
日本一のコレクションで約300品種を一度に見ることができます。花も美しいですが、葉の香りも楽しんでください。

ヒスイカズラ (マメ科)
フィリピン原産の緑がかった青色の花をつけるつる植物です。大温室の一番奥に長い花房がぶら下がって次々と咲いています。

ハンギングバスケット
鮮やかな赤いゼラニウムとシルバーリーフの組み合わせが印象的です。日本ハンギングバスケット協会ハンギングバスケットマスター作

クレマチス・アーマンディー
(キンポウゲ科)
常緑で春咲きのクレマチスです。フェンスを白い花が覆っています。

シヤガ (アヤメ科)
朝咲いて夕方にしぼむ一日花ですが、群生していて、次々と小さなアヤメのような、淡い色の花を咲かせています。

菊桃 (バラ科)
細い花弁で八重咲きのモモ。ピンクの菊のような花を咲かせています。

ツバキ園 (ツバキ科)
大輪のヒゴツバキや海外で育成されたツバキの品種がたくさん咲いています。

リキュウバイ (バラ科)
漢字では利休梅と書きます。純白の花で品があります。

思川 (バラ科)
一重の桜としては花期が遅いほうです。栃木県小山市の思川のほとりで採取した種子から咲いたのでこの名がつけました。

コバノミツバツツジ
(ツツジ科) 芝生広場の他にも園内のいたるところに自生しています。色は淡ピンクから濃ピンクまで株により様々です。

八重曙 (バラ科)
東京の荒川堤に栽培されていたといわれている八重桜です。花弁数はやや少なめです。

鬱金 (バラ科)
黄色の花弁をもつ八重桜です。咲き進むと中心が赤くなります。

